

第3回庄内町保健医療福祉推進委員会議事録

平成24年1月30日(月) 午後1:30~3:00 余目保健センター

出席議員 菅原源也、奥山輝美、佐藤誠、志田重一、佐藤昭一、加藤明、富樫良秋（委員長）
小林義廣、富樫俊子、森居慶、赤羽幹子

出席職員 保健福祉課長、課長補佐兼福祉係長 佐藤繁、課長補佐兼健康推進係長 吉田正子、
主査兼介護保険係長 高山正子、主査兼健康福祉係長 佐藤陽子

内容は次の通り

1 開 会 課長

2 委員長あいさつ

3 協 議 委員長

(1) 高齢者保健福祉計画及び第5期介護保険事業計画の策定について

介護保険係 高山主査より説明

質 疑

志田委員：介護保険料の現状はどうか。

高山主査：まだ公表はしていないが、県内5,000円~5,300円位で、庄内町は5,450円である。

菅原委員：介護者への慰労金の支給要件はどのような内容か。

高山主査：要介護4若しくは5で、町民税非課税世帯、過去1年間介護サービス（年間1週間程度のショートステイの利用を除く）を受けなかった高齢者が該当し、年1回10万円で、年間1名位である。

(2) 障がい者計画及び障がい福祉計画について

福祉係 佐藤課長補佐兼福祉係長より説明

質 疑

富樫（俊子）委員：特別支援学校の名称だが、酒田ではそのようにつかっているが、鶴岡の養護学校は、養護学校のままなのか。

佐藤補佐：そのようになっている。

富樫（俊子）委員：p11精神保健福祉手帳取得者多いようだが、事業所の立ち上げ考えているのか。

佐藤補佐：就労継続支援B型施設を南野に「みなみ」をH23.12月立ち上げた。その他は考えていない。

富樫（俊子）委員：山形県の工賃は低いと聞いているがどうか。

佐藤誠委員：山形県の工賃は大阪市に次いで悪い。

富樫（俊子）委員：障害者担当の専門の保健師がいれば相談等しやすいと思うがどうか。

吉田補佐：限られた人数であるため、業務毎に保健師を分けると自由に動ける保健師がいなくなる。

課長：研修等により保健師全体のスキルアップを図り、保健師誰でも相談できるようにしていきたい。

富樫（俊子）委員：酒田市や鶴岡市には、子育て相談員さんがいる。

（３）地域福祉計画について

福祉係 佐藤課長補佐兼福祉係長より説明

質 疑

（４）健康しょうない21計画について

健康推進係 吉田正子補佐兼健康推進係長より説明

質 疑

菅原委員：平均寿命平成17年は古い数字ではないか。

吉田補佐：平成22年の県と町の平均寿命が発表されていないので比較がむずかしいため、平成17年の数字を載せてある。再度確認する。

赤羽委員：平均寿命と平均余命の違いはあるのか。

吉田補佐：平均寿命と平均余命の違いはないと思うが調べて報告します。

（５）その他 なし

4 その他 なし

計画は、今日まで出た意見等を訂正し31日に委員長から町長に答申しもらう。

庄内町地域福祉計画(案)・庄内町高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画(案)について、地区説明会を開催する。

2月18日（土）午前10：00～11：00 響ホール

午後1：30～2：30 狩川公民館

介護保険条例改正を議会定例会に上程する。

2月3日～2月22日パブリックコメントを実施し、計画(案)は、余目保健センター等での閲覧と庄内町ホームページに掲載する。

5 閉 会